

6. ビジョンの推進体制

6-1 土師ダム水源地域ビジョンの推進関係者

水源地域ビジョンの各施策の事業・活動、及び運営、維持管理に関わる事業関係者とその関わり方を以下に示します。

表-6.1 ビジョンの推進関係者

施策の事業・活動関係者		事業・活動への関わり方
【行 政】		
国	・ 国土交通省（ダム・河川管理者） ・ 農林水産省 ・ 環境省 ・ 文部科学省 など	主に施設の整備や維持管理のほか、ビジョンに基づく水源地域の環境保全や活性化に関する各種取り組みの支援を行います。
県	・ 広島県	
政令都市	・ 広島市	
自治体	・ 安芸高田市 ・ 北広島町 ・ 江の川中流、下流の流域内自治体 ・ 受益自治体	
【民 間】		
住民団体	・ 地元住民団体 ・ 中・下流住民団体 ・ 広域住民団体	主にソフト面の各施策への取り組みを主体的に進め、水源地域の環境保全と活性化を促進する活動を行います。
民間事業者	・ 農林漁業（森林組合、漁業組合、農業組合や個人経営者） ・ 商工業（商工会や個人経営者） ・ 流通業 ・ 観光業	
一般住民	・ 地元住民が個人として関わる ・ 下流や受益地の住民が個人として関わる	
【学識者・調査研究機関】		
教育機関	・ 大学・専門学校（教職員・学生） ・ 小学校・中学校・高校（主に教職員）	主に各施策への専門的観点からのアドバイスや、専門的な調査研究に関する活動を行います。
調査研究機関	・ 公的または民間の各種調査研究機関	
専門家	・ 個人の専門家、研究家	

6-2 土師ダム水源地域ビジョンの推進体制

土師ダム水源地域ビジョンの着実な推進を図るためには、様々な関係者が一体となり、連携・協力しながら推し進めることが重要となります。

このため、本ビジョンの推進にあたっては、関係者間の役割分担、連携・協力を円滑に進めるために、「土師ダム水源地域ネットワーク（仮）」の組織づくりを検討していきます。

同組織は具体的なプロジェクト（現在行っている各活動の展開も含む）を担っていく運営部会（プロジェクトチーム）を中心に、住民（水源地域の活動団体や住民、流域や広域の活動団体）や行政（水源地域自治体・ダム管理者・流域自治体・関係機関）、さらにはアドバイザーとして学識者も含め、各種の具体的な取り組みや施策に積極的に参画してもらうことにより、協働でビジョンの基本理念・基本方針の達成に向けて活動していくものです。

また、同組織内には、各運営部会の代表者（幹事）が一同に会して活動内容の連絡・調整を行う幹事会の他、関係者が一同に集う推進協議会を設置し、ビジョンの着実な進捗を図るものとしします。

事務局は、同組織内の調整やサポート等を図り、各プロジェクトが円滑に推進できるような役割を担います。

さらに、同様の課題を有したり、水源地域の活性化に向けた取り組みを実践している、中国地方をはじめとする近隣の水源地域（水源地域ビジョン策定ダムを主とする）のビジョン推進団体や活動団体との有機的な連携・交流を図り、相互の取り組みを高めていくような体制も検討します。

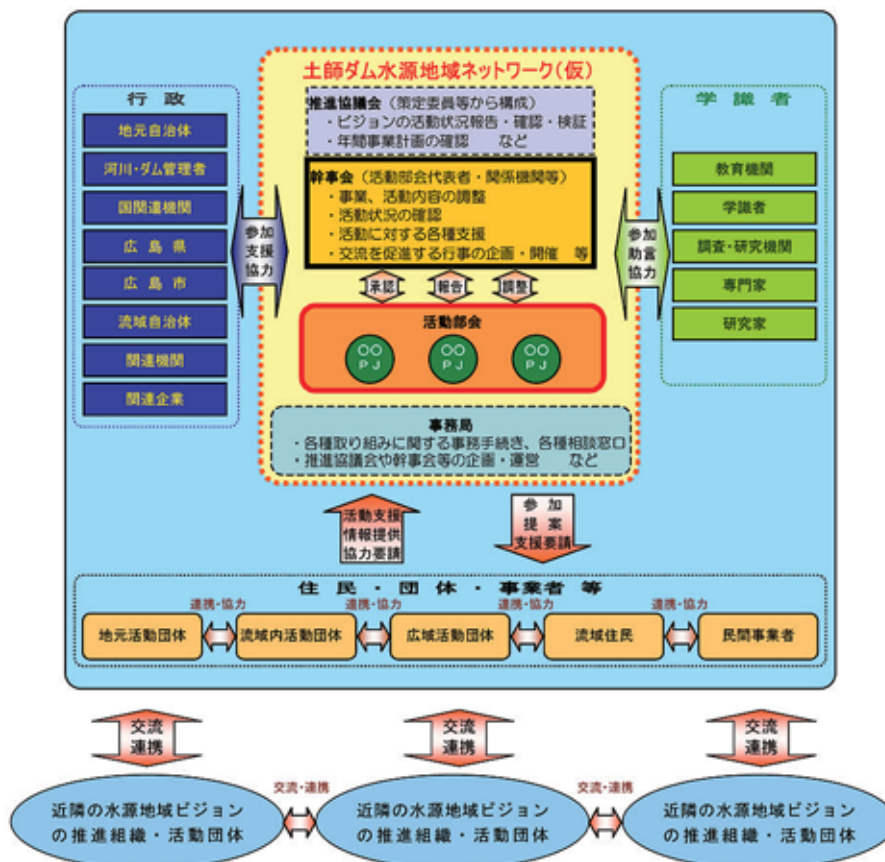


図-6.1 ビジョンの推進体制のイメージ

表-6.2 施策・取り組みの推進計画及び役割分担

方 針	施 策	種 別		
			国	ダム 管理者
方針 1 豊かな自然環境と 清らかな水環境の保全・活用	適正な森林管理の推進	継続・強化	●	
	湖岸・河川等の環境整備の推進	継続・強化	●	●
	江の川（可愛川）・八千代湖の水質の保全	継続・強化	●	●
	水源地域環境の保全	継続・強化	●	○
	水源地域保全のための財源確保（検討）	新 規	○	
方針 2 既存資源の利活用と 新たな魅力の創出	水源地域の魅力の発掘	継続・強化	○	
	八千代湖周辺の魅力の向上	継続・強化	●	○
	地域内観光資源のネットワーク化・パッケージ化	継続・強化		
	水源地域ブランドの開発	継続・強化		
	伝統文化に関する学習会の開催	継続・強化		
方針 3 広域的な交流・連携	水源地域ボランティアの仕組みの創出	継続・強化	○	
	NPOの広域的な交流機会の活発化	継続・強化	○	
	体験・学習プログラムの創出	継続・強化	●	○
	交流の拠点づくり	新 規	○	○
	民間と行政の情報の共有化や各取り組みとの連携	継続・強化	●	●
	国際的な交流の推進	継続・強化	●	
	推進・支援組織の仕組みづくり	新 規	○	○
方針 4 人材の発掘・育成・支援	地場産業の担い手の育成	継続・強化		
	交流の担い手の育成	継続・強化	○	
	観光ボランティアの育成	新 規		
	達人の登録・派遣制度の確立	新 規	○	
方針 5 広報・啓発の推進	水利用に関する啓発・教育	継続・強化	●	●
	水管理に関する情報の発信	継続・強化	●	●
	広報・情報発信の強化・充実	継続・強化	●	●
	水源地域の紹介や総合的な学習の資料の作成	新 規	○	○

事業・活動関係者 ●：主体 ○：参画・支援								これまでの活動実績・関連する活動 例
行 政			民 間				教育 機関	
県	受益地 自治体	水源地域 自治体	NPO	受益地 住 民	水源地域 住 民	事業者		
●	●	●	●	○	○	●		出前間伐（ひろしま人と樹の会） 里山保全祭の開催（湖畔祭実行委員会・ひろしま人と樹の会）
●	●	●	○	○	○			江の川水辺の楽校の整備（三次河川国道事務所）
●		●	●		●	●	●	廃油を利用した環境保全の取り組み（い〜ね大朝） 水辺の楽校における炭による浄化の実験（環境学習）
●		●	●		●	●	●	無リン石けん使用の運動（八千代町女性会） アジサイボランティア・草刈りボランティア・クリーンアップ（地域団体）
○	●	●	●	●	●	●		
		●	●	○	○	●		地域点検の実施とマップづくり（上根地区） 江の川流域の資源マップ・江の川副読本づくり（ひろしまね）
		●	●		○	●	○	炭焼きによる、竹や間伐材などの森林資源の有効活用（ひろしま人と樹の会） 空き農地を利用した「菜の花プロジェクト」の展開（い〜ね大朝）
		○	●			●		名水紀行の開催（よみがえりの水・御神水…）（やまなみ大学）
		○	●			●		地ビールづくり（やまなみ大学・鶴学園） 「ファーマーズマーケット」推進による地場産業育成（中国・地域づくりハウス）
		●	●				○	里山保全祭の開催（湖畔祭実行委員会・ひろしま人と樹の会）
		○	●					江の川文化圏会議・分科会（ひろしまね）
○	○	○	●	○	○			江の川文化圏会議・分科会（ひろしまね）
○	○	○	●				●	「子供ふるさと探検隊」の開催（（財）安芸高田市地域振興事業団） 流域学校交流による体験学習（中国・地域づくりハウス）
		○	●					
●	●	●	●	●	●	●	●	江の川文化圏会議・分科会の開催
●	●	●	●			●	●	県や自治体、教育機関における国際文化交流 県内の活動団体による多様な分野の国際交流
○	○	○	●	●	●	●	○	
●		●				●		サイクリングターミナルの独立性（権限）の強化（サイクリングターミナル） 温泉旅館と農場との共同により加工品を開発（おおあさ鳴滝温泉）
○	○	○	●	●	●			やまなみ大学ディレクター制度（やまなみ大学）
		○				●		
		○	●	○	●		○	
●	●	●	○				●	親子による江の川上流域での水質調査（広島大学）
●								インターネット等（ライブカメラ）を利用した、リアルタイムな水源地域の 状況の発信（土師ダム）
○	○	●	●			●		水源地域ビジョンの広報資料の作成（土師ダム） HPによる、水源地域の自然環境や地域のイベントなどの情報発信（土師ダム）
○	○	●	●				●	